

2023 3/28

No.2183

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



沿線の発展に期待がかかる相鉄・東急直通線の開業。新設された新横浜駅（横浜市港北区）で18日に出発式が行われた（4～7頁に相模鉄道社長の講演録）。



## contents

<b>視点点描</b>	3
意義大きかったWBC	
<b>講演録</b>	4
「相鉄の都心直通プロジェクトについて」 相模鉄道代表取締役社長 千原 広司	
<b>デモクラシーの現場から</b>	8
放送法「政治的公平」に 手を付けた安倍官邸	
<b>政治双眼鏡</b>	10
素通りされる皇位継承問題 岸田政権、国会に丸投げ先送り	
<b>経済双眼鏡</b>	11
冷静な頭脳と「温かい心」 植田和男・次期日銀総裁に求む	
<b>くらし 2023</b>	12
〴〵血液サラサラに、 リスクを知ろう	
<b>神奈川景気データファイル</b>	14

### 事務局だより

◇2023年4月のシンポジウム  
4月17日(月)午後1時30分～3  
時00分

県民共済みらいホール(県民  
共済プラザビル1階)

パネリスト:

横浜岡田屋 4代目社長

岡田 伸浩 氏

天吉 5代目店主

原 茂男 氏

泉橋酒造 6代目蔵元

橋場 友一 氏

演題:「暖簾をつなぐ」

※新型コロナウイルスの感染拡大の状  
況によって中止する場合があります。

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、  
会報「政経かながわ」に会員コー  
ナーを設け、新商品の紹介、地域  
貢献活動、人事などジャンルを問  
わずさまざまな会員情報を掲載し  
ています。掲載の問い合わせなど  
は事務局 ☎045 (226) 2121。

# 視点 点描



## 意義大きかったWBC

ワールドベースボールクラシック(WBC)は、日本の第2回大会以来、14年ぶりの優勝で大いに盛り上がった。

劇的な胴上げ投手となったメジャーリーグMVPの大谷翔平選手や日本のプロ野球最年少3冠王の村上宗隆選手、かつて神奈川の高校野球で活躍した近藤健介選手、横浜DeNAベイスターズの

話題を集め、決勝までのテレビ中継平均視聴率は7試合すべてで4割超えとなった。普段さほど興味がない人も巻き込んで、野球人気を高めたのではないだろうか。

本来は4年に1度の開催だが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2017年以来6年ぶりの開催。多くの選手がアマチュアながら健闘をみせたチェコ、イタリア系のメジャーリーガーが先発に数多く名を連ねたイタリア、そして中南米諸国の充実ぶりなど、各国の「野球状況」も興味深かった。

逆に日本のファンの観戦の様子なども他国に知ってもらえ、久しぶりの国際大会の開催意義は大きかったと思う。

一方で少し気になったのは試合時間の長さだ。日本の試合はすべて3時間超えて、中国戦は3時間41分、韓国戦は4時間を越えた。

日本の試合だけが長かったわけではなく、投手の球数制限ルールや、国際大会ならではのストライクゾーンの厳しさ、一発勝負の駆け引きなど、複合的な要因で試合が長くなった。特に1次リーグは力の差がある対戦もあっただけに、やや間延びした試合と感じた人もいたことだろう。

「日本の野球の面白さを伝える」というのが、今回の栗山ジャパンの目標の一つ。決勝トーナメントの試合は、確かに日本野球の魅力にあふれていた。そうなると、序盤の長い試合時間、大会運営については改善が必要か。観客や中継などを検討してのことだろうが、午後7時という試合開始時間も、楽しみにしていた子どもたちにとってはちょっと遅かった気がする。

(神奈川新聞社編集委員兼論説委員

和城 信行)